

2009 年 12 月 1 日

第7回「博報教育フォーラム」開催 ～テーマ:『ライブの学び』で得られるもの～

財団法人博報児童教育振興会(理事長 近藤道生)は、『ライブの学び』で得られるものを総合テーマに、「第7回博報教育フォーラム」を開催いたしますので、お知らせいたします。

◆ 博報教育フォーラムとは

優れた教育実践には、広く他の教育現場で新たな価値を生み出すためのエッセンスが含まれています。このフォーラムは、「博報賞」ご受賞者の活動から、教育の新しい潮流となりうる旬のテーマと優れた教育実践の事例を選び、様々な立場の参加者が共に考えを深めて意見交換する場を提供することを通して、優れた教育実践を他の実践現場へ拡大・波及させることを目的に開催しています。

◆ テーマ

『ライブの学び』で得られるもの

今回のテーマは「ライブの学び」。どんなに高品質のCDや映像であっても、本物の音楽や風景に接した時に得られるライブの感動には到底及ばないように、教育実践の場においても、五感や、心の深い部分に響くような「ライブの学び」によって得られるものには、とても大きなものがあるのではないのでしょうか。今回もまた、学校関係者、地域の方々、保護者など教育現場に関わるの方々、及び教育に関心をお持ちの方々と一緒に考えたいと思います。

◆ 日時と会場

日 時	2010 年 2 月 20 日(土) 13 時～17 時
会 場	日本工業倶楽部(東京都千代田区丸の内 1-4-6)
主 催	財団法人 博報児童教育振興会
後 援	文部科学省
参 加 費	無料
参加人数	150 名

◆ プログラム

- 基調講演 無藤 隆先生（白梅学園大学教授）
- 事例発表

東京都 大田区立久原小学校・久原小学校 PTA・久が原地区自治会連合会

「大人も熱い、子どもが燃える『夏休みドキドキ学校』」

新潟県 佐渡市立行谷小学校

「トキを守り、地域に貢献する子どもたちの活動」

神奈川県 NPO 法人鎌倉てらこや

「3つの場、3つの世代をつなぐ『複眼の教育』」

- 発表者ポスターセッション
- パネルディスカッション

コーディネーター

鹿毛雅治先生（慶應義塾大学教授）

パネリスト

無藤 隆先生（白梅学園大学教授）

事例発表者代表 3名

- ◆ 申し込み方法 当財団 HP「お問い合わせページ」より、Eメール送信
申し込み用紙に記入し、FAX または、郵送

- ◆ 申し込み締め切り 2010年1月31日（定員に達し次第締め切り）

（財）博報児童教育振興会は、次代を担う児童の豊かな人間性の育成を支援することを目的として、文部省（当時）認可の財団法人として1970年に設立されました。

当財団では、児童教育の要は「ことばの教育」にあると考え、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」、「児童教育実践についての研究助成事業」、「日本語海外研究者招聘事業」、「世界のこども日本語ネットワーク推進事業」など、「ことば」「文化」「教育」の領域を中心に児童教育支援につながる活動をしています。

また、これらの事業から生まれた成果を広めるために、イベントの実施や、通信誌の発刊などの広報活動をしています。

◇ 公式ホームページ <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/> ◇

■ 本件に関するお問い合わせ先:

財団法人 博報児童教育振興会

博報教育フォーラム担当 三松

TEL. 03-5570-5008 / FAX. 03-5570-5016

E-mail. hakuho.foundation@hakuhodo.co.jp